

入浴剤の作り方

〈目的〉

- ・ 物質の化学変化への興味・関心を高める
- ・ 身近な気体の二酸化炭素の性質を知る
- ・ 電子秤を使って、重さを測れる
- ・ 指先の作業（折る、薬さじですくえる、すりつぶす・混ぜる、指で押し固める動作 など）

〈材料〉

- ・ 炭酸水素ナトリウム(重曹)20g
- ・ クエン酸 10g
- ・ エタノール 少量(ピペット1つまみ程度)
*エタノールがなければ少量の水でも可能。ただし水の入れすぎに気をつけること。
少量のはちみつを使っても良い。

〈実験器具〉

電子はかり、薬さじ、乳鉢、型（製菓用型を利用。100均有）、サランラップ、ピペット・スポイトや点眼瓶、薬包紙・秤量皿 など
*トレイがあると机を汚しにくい。

〈注意〉

- ・ 食べない。実験中、顔や目を触らない。触ったらすぐ水で洗う
- ・ なるべくこぼさないよう、落ち着いた作業を心がけさせる

〈作業方法〉

- ① 電子秤で、材料の炭酸水素ナトリウムとクエン酸をはかる
*薬包紙を使う場合、十字に折る作業をする。
- ② 乳鉢に①を入れ、乳棒でよくすりつぶす
- ③ ②にエタノールを少量入れ、全体を混ぜ合わせる
*室内の湿度が高いと、何もいれなくても反応することがある。
- ④ ③の混合物を触って、粘り気がでてきたら、薬さじで型にうつす
このとき、型はクッキーを抜くときと同じよう、形ある方を下にして置く
*型を使わず、ラップで包んでおだんごにしても良い。
- ⑤ 混合物を上から指で押し、型の内部で水平に固める
- ⑥ 型を上下、ひっくり返して、混合物を上から全体的に指でやさしく押し、混合物を下に落とし抜く、
- ⑦ そのまま乾かす。
*乾かすときは、下にラップやトレイがあると後ではがしやすい。
*湿度が高いと、水分に反応してふくれることがある。
- ⑧ できた入浴剤を手のひらにのせて、水をかけて溶かす